

〔全体計画〕

中学部第*学年 国語科学習指導案

日時	令和2年*月*日（*曜日） 10:15～11:05		場所	中学部*年*組教室
指導者	岸田 美羽（T1）、** **（T2）			
単元名	「メモを取ろう」			
本単元で育成する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。（知識及び技能） ＜第1段階＞ ・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。（思考力・判断力・表現力等）＜第1段階＞ ・言葉がもつよさに気付くとともに、国語で考えたり伝え合ったりしようとする。（学びに向かう力・人間性等）＜第1段階＞ 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	事柄の順序や内容など、情報と情報との関係について理解しようとしている。	身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えようとしている。	言葉がもつよさに気付くとともに、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。	
単元設定の理由	<p>本グループは、男子6名で構成されており、太田ステージの結果は、IV（前期）が3名、IV（後期）が3名となっている。学習内容に興味をもち、集中して取り組むことができる生徒たちであるが、初めての活動や難しい課題に対しては、失敗することに対する不安や自信の無さから、周りの様子をうかがい、なかなか活動に取り組むことができないことがある。しかし、授業を重ねるごとに少しずつ積極的に挙手をしたりつぶやいたりする場面が増えてきている。そのため、自信をもって発言したり、活動に取り組んだりすることができるよう、生徒のつぶやきを大切にしながら学習を進めている。聞き取りに関しては、教師の指示を正確に理解し、活動に取り組んだり、教師からの伝言を相手に伝えたりすることができる。また、書字に関しては、丁寧に書く分、他の生徒から活動が遅れてしまう生徒や、書字速度は速いが字形を整えることが難しい生徒など、実態はさまざまである。メモを取ることに関しては、聞いた話の内容を書き留めることが習慣化されていない生徒がほとんどである。そこで、前時までの授業では、メモを取るものの前段階として、「ぼくのお気に入りの〇〇」について、タブレット端末を用いた資料の作り方の動画を見て、穴埋め式の説明書に単語を書き込んだり、教師が黒板にメモした内容を書き写したりする活動を授業の中で取り入れた。</p> <p>上記の実態に即した特別支援学校中学部学習指導要領「国語科」第1段階に示される目標として、ア「日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることができることができるようになる（一部抜粋）」が挙げられる。この目標に基づき、「知識及び技能」では、指導要領解説1段階イ（ア）「人の話しを聞いたり文や文章を読んだりしたことを正しく捉えたり、自分が見聞きした事柄や経験を相手に分かりやすく伝えるために、「いつ」「誰が」「何をした」など、内容の時間的な順序に気を付けながら情報を整理すること」、「思考・判断・表現」では、1段階Aア「日常生活の中で、教師など周りの大人の説明や家族、友達の話、簡単な放送や録音などから、話の概略を聞き取り、指示や説明に応じることができるように、簡単なメモを取りながら聞いたり、分からないときは聞き返したりすること」を取り上げる。本題材では、メインの活動として5W1Hに沿って話される「先生のインタビュー動画」を見聞きしてメモを取る活動を設定した。動画を用いて繰り返し活動を行うことで、5W1Hの項目に着目して情報を聞き取り、メモをする力が身に付くと考える。</p> <p>指導に当たっては、まず、記憶力を確認するゲームを通して、楽しみながらメモのよさを実感できるようにすることから単元を始めていく。具体的には、「桃太郎」など、生徒が既に知っている物語の5W1Hに当たる内容を変えたパロディを用いて間違い探しゲームなどを行う。始めはメモを取らず</p>			

	<p>「聞く」のみでどれだけ覚えていられるかを試した後に、メモを取って間違い探しを行うことで、メモを取ることの便利さに気付くことができるようにする。次に、身近な先生のインタビュー動画を見て、生徒の実態に合ったプリントを用いて繰り返しメモを取る学習を行うことで、メモを取ることに親しむことができるようにする。ここでは、普段から接している教師の動画を用いることで、情報を得ることに対するイメージがわきやすくなるを考える。また、動画の内容を、5W1Hに沿って話したものにすることで、話の要点を捉えやすくなるようにする。最後に、生徒が興味のあるゲームのイベント情報や天気予報など、日常的に得られる情報を用いてメモを取る学習へとつなげていく。例えば天気予報の動画を見た際には、「午前中は雨、午後は暑くなる」という事実を得るだけにとどまるのではなく、その情報をもとに「どのような服装で出かけるか」というような、得た情報をどう生かすのかについて考えるようにしていく。本単元の学習を通して、メモを取ることの便利さを実感する経験を重ねていくことで、学習内容を日常生活に生かせるようにしていきたい。</p>			
	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
単元の 指導 計画 (10時間) 本時は 第5時	1 「メモについて 知ろう」	1 記憶力ゲーム	記憶力を確認するようなゲームをする活動を通して、メモを取ることの便利さについて知る。	メモを取ることのよさに気づき、自分の考えを伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) [発表・観察]
	2 「メモの取り方を練習しよう」	2・3 密着スクープ 7連発!	先生のインタビュー動画を見ながらメモを取る活動を通して、メモを取ることに親しむ。	学年の先生の動画を見聞きし、聞いたことを書き留め、話の大体を捉えている。(思考・判断・表現) [ワークシート・観察]
		4・5 (本時) 密着スクープ 7連発!	5W1Hの項目に沿って書き留めたメモを、分かりやすい順番に並べ替えて発表する。	書き留めたメモを元に、情報と情報との関係について整理している。(知識・技能) [発表・ワークシート・観察]
	3 「メモを生かそう」	6 イベント情報を ゲットしよう!①	ゲームのイベント告知動画を見て、5W1Hの項目に沿って情報を書き留める。	簡単な動画などを見て、見聞きしたことを書き留め、話の大体を捉えている。(思考・判断・表現) [ワークシート・観察]
		7 イベント情報を ゲットしよう!②	5W1Hの項目に沿って書き留めたメモを、分かりやすい順番に並べ替えて発表する。	事柄の順序や内容など、情報と情報との関係について整理している。(知識・技能) [発表・ワークシート・観察]
		8 今日の洋服 どうしよう?①	天気予報の動画を見て、天気や気温の移り変わりを、時系列に沿って書き留める。	天気の移り変わりや気温など、情報と情報との関係について理解している。(知識・技能) [ワークシート・観察]
		9 今日の洋服 どうしよう?②	書き留めたメモを元に、今日の服装をどうするか考え、理由とともに発表する。	情報と情報との関係について整理し、メモを生かしている。(知識・技能) [発表・観察]
		10 まとめ メモとは	本単元の学習を通して実感したメモを取ることの良さについて振り返り、発表する。	メモを取ることのよさについて、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) [発表・観察]

[本時の指導]

1 本時の目標

- ・5W1Hの項目に沿って書き留めた情報を, 分かりやすい順番に並べ替えることができる。(知識及び技能)

2 生徒の実態及び個別目標

生徒 学年 (性別)	生徒の実態	個別目標	自立活動の目 標
A *年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の話し の要点をつかみ, 内容に沿った話題を広げることができる。 ・昔話などの短い話を聞き, 情報を整理し, 端的にあらすじを話すことができる。 ・一度書くペースが追い付かなくなるとその時点で書き留めることをあきらめてしまうことがあるが, 基本的には書字ペースが速く, 一定のペースで読み上げられる単語を落とさずに書き留めることができる。 	5W1Hに項目立てしたワークシートに情報を書き留め, 分かりやすい順番に並べ替えることができる。(知識・技能) [ワークシート, 観察]	
B *年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示を正確に理解し活動したり, 用件を相手に伝えたりすることができる。 ・昔話の情報の聞き取りでは, 登場人物の名前や印象に残った単語を書き留めることができる。 ・何度か繰り返し聞けば, ほとんど情報を落とさずに適切に単語を書き留めることができる。 	動画を繰り返し確認することで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留めることができる。(知識・技能) [ワークシート, 観察]	5W1Hを使って相手に状況を分かりやすく伝えることができる。
C *年	<ul style="list-style-type: none"> ・指示内容に対し, 内容を確認するために繰り返し質問をすることが多くある。 ・昔話などの短い物語であれば, 登場人物や出来事の時系列を整理して記憶することができる。 ・書字速度は速く, 一定のペースで読み上げられる単語を落とさずに書き留めることができる。 	5W1Hに項目立てしたワークシートに書き留めた情報を並べ替え, 短い文を作ることができる。(知識・技能) [ワークシート, 観察]	
D *年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の話しから自分の気になるワードに着目して話を広げたり, 教師の指示を正確に理解して活動したりすることができる。 ・字形は整っているが, 書字に対する苦手意識や文字が思い浮かばないことがあるため, 他の生徒よりも書き留めるペースが遅れてしまうことがある。 	動画を繰り返し見たり, ヒントカードを用いたりすることで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留めることができる。(知識・技能) [ワークシート, 観察]	
E *年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示を正確に理解して活動することができるが, 焦っているときには情報を聞き落してしまう。 ・昔話などの短い物語であれば, 登場人物や出来事の時系列を整理して記憶することができる。 ・一定のペースで読み上げられる単語を書き留めることができるが, 一度分からなくなると混乱して続きを書き留めることができなくなってしまう。 	動画を繰り返し確認することで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留め, 短い文を作ることができる。(知識・技能) [ワークシート, 観察]	
F *年	<ul style="list-style-type: none"> ・指示内容を正確に聞き取り活動することができるが, 自信の無さから質問に答えられないことがある。 ・ゆっくりであれば一定のペースで読み上げられる単語を書き留めることができるが, 一度分からなくなると混乱して続きを書き留めることができなくなってしまう。 	動画を繰り返し確認することで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留めることができる。(知識・技能) [ワークシート, 観察]	

3 展開

※形態の表記は 全体：全，グループ：グ，個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容	指導の手立て（各Tの役割等）※評価は□										
全 (7)	<p>1 はじめのあいさつをする。 ・前時の振り返りをする。</p> <p>2 本時の学習内容を知る。 (1) 本時の学習の流れを知る。</p> <div data-bbox="240 622 799 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #ADD8E6;">学習の流れ</p> <p>①メモの取り方のポイントを確認する。 ②動画を見て〇〇先生の情報を入力する。 ③入手した情報を分かりやすく発表する。</p> </div> <p>(2) 本時の目標を知る。</p> <div data-bbox="240 913 799 1084" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #FFD700;">目標</p> <p>〇〇先生についてメモした情報を、分かりやすく伝えることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正すように言葉かけをし、授業の始まりを意識してあいさつができるようにする。 ・前時のワークシートを用いて内容を振り返ることを毎時間続けることで、メモの取り方についてのポイントが定着できるようにする。 ・前時の発表の様子を撮影した動画を用いて、分かりやすい伝え方（話し方・構成の仕方）について確認することで、前時の学習を本時につなげることができるようにする。 ・生徒たちが興味をもち、何度も繰り返し見ることができる動画を教材として用いて授業を行うことで、積極的に授業に参加することができるようにする。 										
個 (18)	<p>3 動画を見てメモを取る練習をする。 (1) 〇〇先生の動画を見てメモをする。</p> <p>[A, C, E プリント]</p> <div data-bbox="240 1563 799 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">☆自由メモ</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">いつ [いつか]</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">だれが [だれか]</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">どこで [どこか]</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">なにを [なにを]</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">いつか</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">だれか</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">どこか</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">なにを</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 月 日 名前() 『密着スクリーン』7連発！ 『先生バージョン』 </div> </div>	☆自由メモ	いつ [いつか]	だれが [だれか]	どこで [どこか]	なにを [なにを]		いつか	だれか	どこか	なにを	<ul style="list-style-type: none"> ・T2は随時生徒のもとを回りながらプリントのポイントとなる場所を差し示したり、見る場所を指示したりすることで、全員で共通してメモのポイントを確認できるようにする。 ・動画の再生速度を通常のものより遅いものを用意することで、書字速度が遅い生徒が途中であきらめずに学習に取り組むことができるようにする。 ・Dには平仮名・片仮名表を用意することで、分からない文字をすぐに見て書くことができるようにする。 ・生徒の実態に合わせたプリントを使用することで、情報を正確にメモすることができるようにする。 ・A, C, Eは「いつ・だれが・どこで・なにをした」と項目の順番を固定したプリントを用いることで、聞いた情報を整理しながらメモを取ることができるようにする。
☆自由メモ	いつ [いつか]	だれが [だれか]	どこで [どこか]	なにを [なにを]								
	いつか	だれか	どこか	なにを								

[B, D, F プリント]

☆自由メモ	(((
)))
	(((
)))

月 日 名前 ()
 『密着スクープ7連続!』
 『先生バージョン』

・ B, D, Fは「だれが・なにをした・どこで・なにを」など、動画の話しに出てくる流れの通りに項目を並べたプリントを用いることで、情報やキーワードを正確にメモすることができるようにする。

B 動画を繰り返し確認することで、5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留めている。(知識・技能 [ワークシート, 観察])

D 動画を繰り返し見たり, ヒントカードを用いたりすることで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留めている。(知識・技能 [ワークシート, 観察])

F 動画を繰り返し確認することで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留めている。(知識・技能 [ワークシート, 観察])

グ

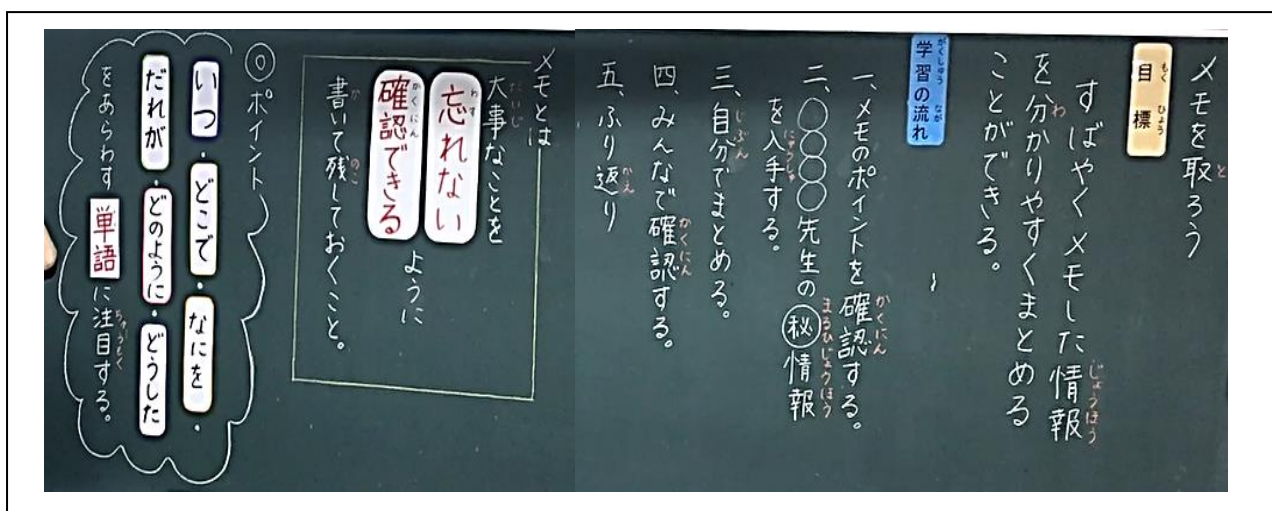
- (10) (2) メモの情報を確かめる。
 ・ 2つのグループに分かれてメモした情報を共有する。
- (8) (3) 並べ替えて発表する。
 [並べ替え短冊]

どう した	どの ように	なにを	だれが	どこで	いつ

- ・ 動画の再生回数は3回までと目安を決めることで, 前半・後半に分けてメモをとったり, 聞き漏らした情報を補足したりと見通しをもってメモを取ることができるようにする。
- ・ 項目ごとの内容について2つのグループに分かれて丁寧に確認することで, 一人一人が発言する機会を増やしていく。
- ・ 5W1Hの項目ごとに短冊を用意し, 短冊を並び替える操作をすることで, 項目の並び替えを可視化できるようにする。
- ・ D, Eが発表することが難しい場合には, 項目を指差したり, 「どれを使いますか」などの言葉かけをすることで, 話し合いに参加できるようにする。
- ・ 文章にまとめることが難しい生徒には, 使用する項目や順番を指定することで, 簡単な文章をつくることができるようにする。

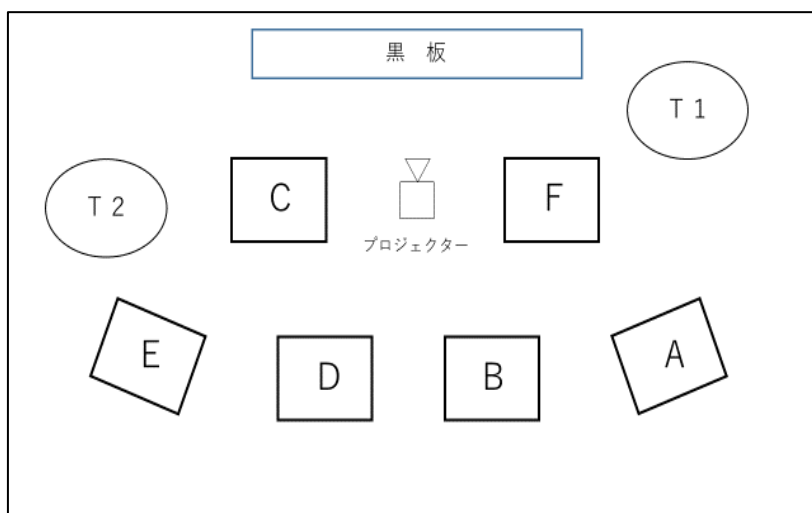
		<div data-bbox="829 192 1430 407" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 5W1Hに項目立てしたワークシートに情報を書き留め, 分かりやすい順番に並べ替えている。(知識・技能 [ワークシート, 観察])</p> </div> <div data-bbox="829 407 1430 622" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>C 5W1Hに項目立てしたワークシートに書き留めた情報を並べ替え, 短い文を作っている。(知識・技能 [ワークシート, 観察])</p> </div> <div data-bbox="829 622 1430 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>E 動画を繰り返し見ることで, 5W1Hに項目立てしたワークシートに正しい情報を書き留め, 短い文を作っている。(知識・技能 [ワークシート, 観察])</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・再度動画を見て正解を確認することで, 生徒自身がメモをして情報を得ることができたという実感をもつことができるようにする。 <div data-bbox="845 1025 1430 1227" style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>5W1Hの項目に沿って正確に情報を書き留め, 分かりやすい順番に並べ替えている。(知識及び技能 [ワークシート, 発表, 観察])</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子を撮影した動画や, 本時に記入したワークシートを用いることで, 本時の学習に対する自己評価ができるようにする。 ・次時に用いる動画を少しだけ見せることで, 次時への学習意欲を高めることができるようにする。 ・授業が終わる雰囲気になっているか生徒同士で確認するよう言葉がけを行い, 授業の終わりを意識することができるようにする。
<p>全 (7)</p>	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の振り返りをする。</p> <p>(2) 次時の学習内容を知る。</p> <p>(3) 終わりのあいさつをする。</p>	

【板書計画】



【配置図】

・全体活動時



・グループ活動時

